



「花を咲かせ隊」始動！

ゆり北

第260号 (24期 第4号)

光が丘ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

発行責任者 塩 原 継 雄

今年も「楽しく」「楽しく」参加しよう

06 ゆりの木夏まつり



まつりボランティア募集

八月の最後の週末、二十六日(土)、二十七日(日)に恒例のゆりの木夏まつりを開催します。すでに六月三日に実行委員会が開かれ、ゆりの木商店会との打ち合わせ、ステージ出演予定者の確認、プログラムの作成など準備が進んでいます。今年は新しい企画もありそうです。どうぞお楽しみに。

自治会会員世帯には「よみせおたのしみ券」を配布します。小野上の野菜購入にも使えますので是非ご利用ください。

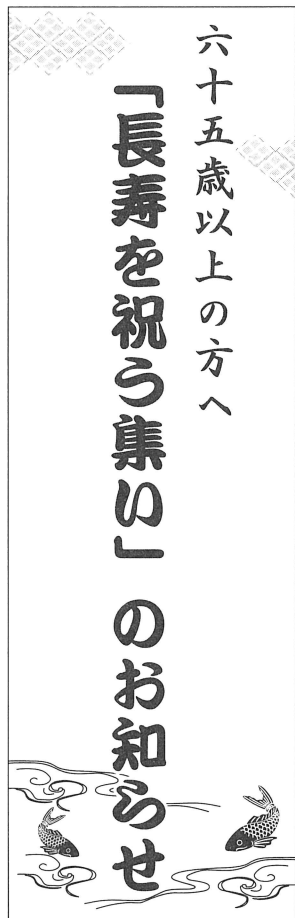
おとな・大学生実行委員

・舞台設営

八月二十日午前十時～午後一時
八月二十六日午前十時～十二時

六十五歳以上の方へ

「長寿を祝う集い」のお知らせ



ゆりの木北自治会では、今年も敬老の日に「長寿を祝う集い」を開催いたします。昼食を召し上がりながら演芸などを御覧いただき、楽しいひとときを過ごしていただく集いです。近所の方々と交流し親睦を深めていただければ幸いです。皆様お誘い合わせの上ご出席ください。

七月下旬から八月上旬にかけて、ゆり北団地全世帯に「長寿を祝う集い」のご案内を配布いたします。

九月十八日現在六十五歳以上で参加ご希望の方は、出席票をお出しください。

日時 九月十八日(月・敬老の日)
午前十一時～

場所 赤塚新町光が丘集会所
(赤塚新町公園となり)

会費 無料
バリアフリーの洋室で、外履きのまま入れます。

(福祉部)

・会場設営

まつり当日午後一時～三時

・清掃・警備

まつり当日午後四時～十時

・お楽しみコーナー

まつり当日午後二時～七時

・出店者募集

模擬店

出店料 五千円または利益の十%

時間 午後三時からステージ終了三十分前まで

フリーマーケット

出店料 一区画五百円

時間 午後三時～七時三十分

お問い合わせは自治会役員まで

第一回世話人会議開催

六月二十四日(土)午後八時より、十二号棟集会所において第一回世話人会議を開催しました。世話人三十九名のうち二十九名にご出席いただきました。

塩原会長から渉外報告として、板橋区や下赤塚地区の状況について、子ども行事や安全対策も含めて説明しました。また世話人も板橋区のボランティア保険に加入していますので、自治会行事に積極的に参加してほしいと願いました。次に自治会の今年度の活動計画については、各専門部の部長及び事務局より、既に実施した板橋クリーン作戦の報告や、今後計画している団地内防災設備見学会、夏期夜間パトロール、

ゆりの木夏まつり、長寿を祝う集いなどを具体的に説明しました。

世話人からは、非常階段出口前に駐車しないように措置(標識、表示、プラント等)をとっていただきたいとの要望がありました。

各棟の掲示板には役員と世話人の氏名と住居番号を明示してあります。自治会へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

(事務局)

「自治会窓口」での会費払込

ありがとうございます

七月九日(日)、約四年半ぶりに「自治会窓口」を開きました。

この「窓口」の目的のひとつは自治会費の払い込み受付にあります。

自治会費は、東京スター銀行または旧UFJ銀行の「口座振替」あるいは「集金」により納めていただいています。かつて十一号棟一階に

東京相互(東京相和・東京スター)銀行光が丘支店があった頃には、会費の三分の二が「口座振替」により納められていました。その後東海(UFJ)銀行の利用も導入しましたが、

東京スター銀行光が丘支店の閉店とともに「口座振替」世帯は減少の一途をたどり、現在では会員の三分の二が「集金」世帯となっています。

そのため集金に携わる自治会役

員・世話人の負担が大きく、また会員からも集金に来られるのが煩わしいとの声が届いていました。

今回「窓口」での会費払い込みのご案内をいたしましたところ、「集金」世帯三五四の半数を超える一八〇世帯が「窓口」をご利用くださいました(取扱時間外の受付分七世帯を含む)。また思いがけず多くの会員の皆様の声を直接伺うことができて、コミュニケーションの大切さと難しさを痛感する一日となりました。

来年度以降については未定ですが、今年の経験は必ず今後の自治会活動に生きるものと考えます。

なお、事務上のミスや不行き届きの点がありましたことをお詫びいたします。

(事務局)

PPキャップ・リサイクルボランティア募集

週三、四時間、PP(ポリプロピレン)キャップのリサイクル活動を手伝ってくださる方を募集しています。

身体を動かし、手先を使い、仲間と話し合い、情報交換も出来ます。ぜひご参加ください。

申込先 七一〇四 藤崎

十一五〇七 中島

十一九〇六 平野

十一一六〇八 市東

(☎三九七六―三二一五)

「下赤塚地区防災訓練」

ぜひご参加ください

実施日 八月二十七日(日)

場所 下赤塚小学校校庭

集合 十一号棟北側防災倉庫前

解散 午前九時四十五分

内容 正午頃の予定

初期消火訓練

三角巾による応急手当

簡易担架による

負傷者搬送訓練 他



4年半ぶりの「自治会窓口」

「十一号棟エレベーターの『非常呼』が通じない！」

団地内防災設備見学会実施

防災設備見学会は、自治会の新役員、新世話人、管理組合新役員ほか住民の皆様が団地内の防災設備を知っていただくために毎年実施しています。

今年は六月二十五日（日）午前十時から行い参加者は二十五名でした。今回は特に日立エレベーター・サービスと光が丘CIS（ケーブル・インフォメーション・システムの略）の係員に出席を要請し、非常時の対応について説明してもらいました。最近のシンドラー製エレベーターの事故から、エレベーターに質問が集中しましたが、停電時と地震時のエレベーターの動きについて次のように説明がありました。

一、停電時は、バッテリーで最寄りの階まで動いて扉が開きますので、乗っている人は降りて下さい。なお、エレベーター内の照明は暗くなりますが、二十分程度は消えませんが、二、地震時は、停電や嘔み込み（機械部品が当たったり絡んだりして動かない）等が起らない限り、そのまま運転を続けます。乗っている人は、全ての階床ボタンを押し、最寄りの階で停まったら、エレベーターを降りて下さい。

ただ気がかりな点は、歩いている時でさえ震度4程度では気が付かないのに、エレベーターに乗っていて地震とわかるかどうか。

次に団地内防災設備については、CIS係員が建物に付いている装置を示しながら詳細な説明を行いました。その際、十一号棟で次の不具合が見つかりました。

一、エレベーター横のインターホンでCISセンサーと話をしたところ、ゆり北側の声が小さいとの指摘がセ

ンター係員からありました。実際には、ゆり北で話をした人の声は小さくなかったもので、設備点検をする事になりました。

二、エレベーター内の「非常呼」黄色のボタンを押してセンター係員と話そうと試みたところ全く通じず不具合が明らかとなりました。エレベーターが二台とも同じ故障です。日立エレベーター・サービスの係員によれば、半月前の点検では正常だったとのことで、至急修理することになりました。

その後、消火作業に重要な消火栓や採水口、震災時に上水道ポンプを起動する自家発電設備を見学して散会となりました。

（防犯防災部）

シンドラーと日立エレベーター

五号棟 大野博之

今年六月、都内の高校生がエレベーターに挟まれて死亡しました。この事件の原因については、シンドラーの責任か、保守点検会社の責任か調査中です。

わが国のエレベーターは、製造保守とも三菱電機、日立製作所、東芝三社のグループ会社が上位を占める寡占状態ですが、しばらく前から安く保守点検を請け負う独立系の会社が見られました。

数年前のゆりの木北管理組合の総会で、組合員からこの安い独立系の保守点検会社と契約すべきだとの意見が出たことがあります。

これに対し

① エレベーターの事故は重大事故となるので、予防のためには十分な保守点検が実施されなければならぬ。ノウハウ、人材、部品等の備蓄

が必要である。

② 万一事故が起きたら多額の損害賠償が必要となるので保守点検会社の信用も重要だ。

③ 独立系会社は、製造会社から多くの使用パーツの供給を受けており、マニュアルにも納期にも不安がないとは言えない。

という反対意見も述べられました。

その後理事会で検討した結果、日立ビルシステムと保守料金の値下げ交渉をし、日立が大幅な値下げを受け入れたこともあり、引き続き日立に保守点検を委託することになりました。常識的な線に落着いたと思います。

日立エレベーターも故障します。

今年の杏は大きさ不揃い
それでもジャムはおいしいぞ

六月十六日（金）と十八日（日）に杏の実の採取を行いました。

赤塚新町小学校東門から十号棟に至る通学路の両側には杏の木十三本があり、春の花の見事さと梅雨期の実の採取は、ゆり北の風物詩となっています。

今年五月の日照不足に加え、アブラムシの発生で実りが心配されま



さあ！みんなであんずを袋詰め

安全性を高めるため、日立はヘリオス方式という自動点検装置で毎日二十四時間機械の自動監視を行うほか、毎月一度の巡回・目視点検を行っています。また管理組合とフルメンテナンス契約を結び、たとえば文字通り、いのち綱のロープも早め早めに取り替える事にしています。

停電時には最寄階に着床する装置も付いています。更に管理組合では、近々エレベーターの根本的大改修も行う予定です。

しかし、所詮は過ち多き人間のやることです。今回の不幸な事故を他人事としないで、これまで以上に慎重に保守点検を行うよう日立ビルシステムに望みたいと思います。

したが、六月に入ってから順調に生育、成熟し、収穫の日を迎えることができました。一昨年の盗難被害の経験から事前に赤塚新町小学校五組の児童の協力を得て短冊を付けました。

採取した実は、大小五十個ずつ袋に詰めて一七四袋となり、参加者六十五名を中心に配布しました。

杏の実はジャムや果実酒に加工される方が多いようですが、今年の味はいかがでしたか。

（管理組合植栽担当 藤崎）

僕と言われたけど
楽しかったアンズ取り



私は男ではない女である。アンズ取りは、知らない人もいたけれど知っている人もいた。小学生もいた。小学生の子の名前は知っているけど、書かない。アンズ取りの日は日曜日であった。その日は小雨が降っていた。カッパを着て家を出た。七号棟のおじいさんが「これ僕の？」と私がもらったアンズをゆびさした。私はきょとんとして「はい」

と言った。おじいさんは「そうかい」と言った。私は「僕じゃないです。私です」と言った。アンズ取りの時ずっと木をゆさぶってたら、首や手、腕が疲れたけれど、とてもおもしろいアンズ取りでした。



おーい落とすぞ～

「花を咲かせ隊」始動



ゆりの木商店街の花壇（三カ所）の土壤改良と花卉の植え込みが七月六日、七日に行われ、機構から園芸作業用器具が引き渡されました。今回植えられたのは、ツツジ、ナンテン、ケイトウ、トレニア、マリーゴールドです（二面左上写真）。日常の散水、手入れ等の管理を団地住民の手で行うため、ボランティアグループ「花を咲かせ隊（仮称）」が発足しました。七月八日に第一回の会合を呼び掛けたところ十四名の方が集まり、毎週土曜日午後四時から活動することを申し合わせました。関心がある方は是非ご参加ください。

九月には苗の植え替えを行う予定です。今後、年三回程度植え替えるとして、苗四百株に要する費用をどうするかが当面の課題です。良いアイデアがあればお聞かせください。住民の憩いの場、交流の場として少しでも花壇が役立つよう願っています。

（生活環境部）

ノースレンジャーズ

おめでとう頑張ったね
下赤塚地区大会準優勝

七月九日（日）に青健少年野球下赤塚地区大会が赤塚体育館少年運動場と下赤塚小学校校庭で開催され、ノースレンジャーズは高学年（二部、四チーム参加）と低学年（二部、六チーム参加）それぞれ一チームが出場しました。

高学年の第一試合は赤塚アントラーズBチームと対戦し、息詰まる試合を三対二の一点差で振りきり、チーム初の決勝戦へ進出しました。決勝戦では、今年の成増リーグで優勝した梶山レッドスターズAチームと対戦し、中盤ではリードしていましたが最終回となった六回の裏に四対四の同点に迫いつかれ、サドンデスとなった七回は一点を奪ったあと二点を返されて試合終了、惜敗しました。

低学年チームは、今年から参加の板橋ドリムスを相手に健闘しましたが十一対九の僅差で敗れてしまいました。

例年、下赤塚地区大会での対戦相手となる赤塚アントラーズと梶山レッドスターズは、共に歴史あるチームです。その両チームを相手に、五年前から出場しているノースレンジャーズは、今年初めて決勝戦へ進むことができました。

下赤塚地区という狭い地域での大会ですが、決勝戦に進み優勝まであと一步という結果を残せたことはチームにとって大きな自信となり、今後の励みになるでしょう。

来年は、今年より少し大きいカップを目標に練習に励みます。下赤塚地区大会でのご声援ありがとうございました。

（八号棟 前原）